



2020～21年度
国際ロータリー会長
ホルガー・クナーク

Weekly Report Niigata



国際ロータリー

2020～21 年度テーマ

ロータリーは機会の扉を開く



2020～21 年度
新潟ロータリークラブ会長

高橋 秀松

新潟 RC 9 月第 3 例会 (2020.9.15)(書面例会併催) No.3336

(1) ロータリーソング「我等の生業」 ピアノ演奏

(2) 高橋 秀松会長挨拶

9 月 15 日。今日は、敬老の日でした。2002 年までは 9 月 15 日が敬老の日でしたが、祝日法改正により 2003 年から 9 月の第 3 月曜日となったわけです。私にとっては 9 月 15 日の方がしっくりきます。今日は、敬老の日になみ、人口問題が影響する、特に、65 歳以上の高齢者の問題に絞って、お話をさせていただきます。過日、お話ししたように、総人口が 2010 年をピークに、以降は減少していく見通しでございます。そのような状況の中で、65 歳以上の高齢者人口は(緑と紫ですが)、2010 年の 2,948 万人です。2025 年には、3,658 万人で 710 万人増加し、2060 年には、3,464 万人で 516 万人増加、と推計されています。問題は、75 歳以上の後期高齢者人口の増加が著しく、2010 年の 1,419 万人を基準にすると、2025 年には、2,179 万人と 760 万人増加し、2060 年には、2,336 万人 917 万人増加と推計されています。そして、人口全体における後期高齢者の比率は、2010 年 11.1% でありましたが、2025 年 18.1% 2060 年 26.9% と(4 人に 1 人以上)推計されます。驚くべきスピードで高くなっていくと予測されています。(ちなみに新潟 RC の高齢化率は 14% でした。)この状況の中で、65 歳以上の要介護認定者数(何らかの介護が必要とされる方)は、2003 年度には、370 万 4 千人でありましたが、2018 年度末には、658 万人となっています。これを、前期高齢者(65 歳～74 歳)と後期高齢者(75 歳以上)の要介護認定の状況を比較いたしますと、前期高齢者は比較的健康な方が多く、要介護認定者数は、要支援、要介護合わせて、前期高齢者全体の 4.3% にとまっています。一方、後期高齢者は要支援、要介護を合わせて、要介護認定者数が、後期高齢者全体の 32.5% の状況にあり、つまり 75 歳以上になると、要介護認定を受ける人の割合が大きく上昇しています。先ほど述べたように、今後、後期高齢者が驚異的なスピードで増加する傾向にあることから、要介護認定者数も大幅に増加することは、間違いのないと思います。高齢者が増加する中で、高齢者を対象とした住宅は様々あるかと思いますが、代表的な例として、4 種類の高齢者向け住まいについて、その概要を説明させていただきます。まず、「サービス付き高齢者向け住宅」です。略して、「サ高住」と呼んでいます。60 歳

以上の世帯であれば、誰でも、入居することができます。月額料金は 15～25 万円程度(食費や光熱水費は含まず)で、一般のマンションやアパートに比べて、やや高めになっています。一般的な「サービス付き高齢者向け住宅」はバリアフリー対応の賃貸住宅で、日中、管理人が常駐し、「安否確認」と「生活相談」を行ってくれますが、必要な生活支援や身体介護などは、外部サービスを利用することになり、料金も別になっています。次に、「有料老人ホーム」ですが、大別して「介護付き」と「住居型」があります。「介護付き」は、主に要介護者を対象とし、施設スタッフによる見守り、食事の提供、掃除、洗濯といった生活援助や緊急時の対応の他、専門の介護士が 24 時間常駐し、入浴、排泄や食事等の介護サービスを行ってくれます。月額料金は、施設や都道府県によって、大きく異なりますが、全国平均で 22～23 万円程度となっています。「住居型」は、自立、要支援、要介護を問わず、入居が可能です。月額料金は、14～15 万円程度と安く、しかも、「介護付き」と同様な生活援助サービスを受けられるので、安心感を満たしていると言えますが、外部の介護サービスを利用した場合、その費用は別枠となっています。「認知症高齢者グループホーム」についてです。これは要介護度 2 以上で、原則 65 歳以上の認知症高齢者が少人数で共同生活をする施設です。専門スタッフからの介護サービス、機能訓練を受けながら、料理や掃除などの家事を分担します。ただし重介護や医療ケアが必要になった場合は、退去することになります。最後は、「特別養護老人ホーム」です。在宅での生活が困難となった、原則として、要介護度 3 以上の高齢者が入居できる公的な介護保険施設です。入居費用が介護保険でまかなえるので、費用が安く、非常に人気が高い施設です。月額費用は 8～14 万円が相場とされており、それにプラスして日常生活費が必要となります。2019 年 4 月現在で、全国における待機者は 30 万人近くとなっています。設置主体は社会福祉法人と地方公共団体です。それぞれの定員数の推移についてですが、「サービス付き高齢者向け住宅」は、制度発足の 2013 年に 4 万 6 千人であったものが、2016 年には、15 万 8 千人に、「有料老人ホーム」は 2005 年に、9 万 6 千人であったものが、2016 年には、48 万 3 千人に、「認知症高齢者グループホーム」は 2005 年に、9 万 9 千人で

あったものが、2016年には、19万3千人に「特別養護老人ホーム」は2005年に、38万3千人であったものが、2016年には、53万人となっており、4施設すべてにおいて、増加傾向にあります。また、近年は、高齢者向け住まいの高まる需要に対し、民間事業者が応える形で、「サービス付き高齢者向け住宅」と「有料老人ホーム」の定員数が特に増えています。民間施設である「サービス付き高齢者向け住宅」と「有料老人ホーム」はサービス内容が基本部分を除き、各施設で種々異なっており、それに応じて、利用料金も、大きく差異が生じています。初期費用として、入居金や保証金を求める施設もあり、返還の有無も施設ごとに異なっています。入居を検討するに当たっては、サービス内容や様々な経費を十分確認することが大切だと思います。今ほど住まいの話をさせていただきましたが、平成30年の内閣府の調査によりますと、介護が必要となった場合に、自宅で介護を受けたいと回答した人の割合は、全体で73.5%という高い数値を示しました。また、介護費用は、介護保険制度スタート時には、3.2兆円でしたが、高齢者の増加や利用期間の長期化などにより、2018年度には、9.6兆円、約3倍に膨らんでいます。これまでも、介護保険料のアップや自己負担割合の見直しなどを行ってきましたが、今後も、介護費用の増額が予想されることから、介護保険制度が将来にわたって、持続可能となるための見直しが進められるものと思っています。さらに、先ほど述べたように、特別養護老人ホームの待機者が約30万人という状況にあり、今後、後期高齢者の増加に応じて、要介護度3以上の人が増加することを踏まえると、待機者の問題は、さらに深刻化すると思われます。高齢者の「自宅で介護を受けたい」という意向の尊重、介護費用総額の抑制、さらには、「特別養護老人ホーム」待機者の解消を図る観点から、国では、団塊の世代が後期高齢者に移行する2025年を目途に、住み慣れた地域で、自分らしい暮らしを、最後まで続けることができるよう、「地域包括ケアシステム」の構築に取り組んでいます。このシステムは、「住まい」「医療」「介護」「介護予防」「生活支援」が一体となって、30分以内にサービスが提供されるような体制を、中学校単位ごとに、築いていこうというものです。そのためには、「かかりつけ医の訪問診療」の推進、「訪問看護ステーション」の整備、24時間対応の「訪問介護サービス」の充実強化、相談やサービスのコーディネートを行う、「地域包括支援センター」の設置を進めるとともに、さらには、生活支援、介護予防の分野での自治会やNPO法人などの参画も必要不可欠です。「地域包括ケアシステム」の取り組みは、すでに、10年近く前から提案されておりますが、私は、まだまだ、十分には進んでいないのではないかと感じています。これらの問題、我々が避けては通れない老後の生活に直結する課題でありますので、大いに関心をもちながら、その動向を注視していくことが大切だと思います。敬老の日にはふさわしくない、暗い話題になりましたが、死ぬまで元気でロータリー活動が続けられる皆様方には、無縁の問題です。今日は高齢者の問題について話させていただきました。



（株）NST新潟総合テレビ
代表取締役社長 酒井昌彦君
紹介者 星野圭二郎君
所属委員会 ニコニコボックス委員会

はじめまして、NST 新潟総合テレビの酒井昌彦と申します。この度、伝統ある新潟ロータリークラブへの入会をご承認賜りまして、誠にありがとうございます。長岡市の出身です。ブラウン管テレビの中で活躍する第四十八代横綱大鵬、そしてジャイアント馬場に導かれるように憧れのテレビ局に入社し、制作、報道、営業畑を歩んで参りました。まずは地域のためにできることを足元からしっかりと見つめ考えながら、新潟ロータリークラブの一員として努めて参りますので、今後ともどうぞご指導ご鞭撻のほどよろしくお願いいたします。

(4) 高橋 康隆ゴルフ同好会会長

一昨日、新潟RCゴルフコンペが開催され優勝は高橋秀松さんでした。次回は10月18日を予定しております。

(5) 各種ご寄付の発表

米山奨学会寄付発表(徳永 昭輝委員)

石橋 正利君 徳永 昭輝君

松本 康宏君

青少年育成基金寄付発表(樋熊 紀雄委員長)

本多 晃君 樋熊 紀雄君

津久井勝之君

(6) ニコニコボックス紹介(中尾嘉則副委員長)

・星野圭二郎君 酒井さん入会にニコニコします。

(7) 幹事報告(佐藤 邦栄)

・例会後新会員オリエンテーションを4階「雪の間」で開催致します。
・故高島文治元会員ご夫人より80周年誌送付、鈴木滋弥会員の追悼文お礼状披露

(8) 会員スピーチ

・(株)塚田牛乳 代表取締役社長 塚田 正幸君

「牛乳は農産物だ」

・新潟県信用農業協同組合連合会

代表理事専務 梅澤 哲雄君

「二度あることは三度ある」

10月6日の例会予定

・派遣長期交換学生 佐藤 花与さん帰国報告

新潟ロータリークラブホームページアドレス
<http://www.niigatarc.jp/>

(3) 新会員の紹介